

平成30年度第4回東海村（仮称）歴史と未来の交流館展示監修委員会 会議録

1. 日時	平成30年12月20日（木）13:30～15:00
2. 場所	東海村立図書館2階会議室
3. 出席者	高橋修委員長，塩谷修副委員長，益子美由希委員，菊池芳文委員，宮内教男委員，高橋裕文委員，小野寺淳委員，萩谷信輝委員，林圭史委員，宮田裕紀枝委員
4. 欠席者	瓦吹堅委員，安嶋隆委員，佐々木啓委員
5. 議題	(1) 展示設計（案）の検討 (2) その他

主な発言内容等

(1) 展示設計（案）の検討

- ・展示室1は外光が入ってくるということで，グラフィック等は退色していくだろう。展示替えのしやすさ，廉価で展示替えができるようにという工夫を検討する必要がある。
- ・展示室1・展示室2・特別展示室それぞれクリアに性格分けがされている。展示室1は子どもにも気軽に親んでもらう展示を目指すもので，これは開放的な空間を作らなければならないことを逆手にとって，こういうコンセプトにしたのだろう。このとき，出す情報のレベルを工夫しなければならない。情報を詰め込めるようにシステムが用意されているようだが，この中に分かりやすい情報を選んで入れていくことになる。展示では情報過多になりがちだが，そうならないで比較的低年齢の人にも親んでもらえるよう作っていくので難しい仕事になるだろう。
- ・初めての来館者に展示の構成を伝える場所が必要では。まる博テーブルのあたりに工夫して検討してほしい。
- ・展示室2の展示ケース（古墳・白根の部分）において，2段階にわたってサイン仕切りのドアを開けて入っていくことには反対である。間仕切りは天井吊りのスクリーンのような方式としてはどうか。フレキシブルになり間仕切りとしても十分効果はある。
- ・展示室2の展示ケース内の解説用斜台に載せるシートは定型のコピー用紙と同じサイズにしておくことで展示替えの時に自分で印刷したものを自由に置けるようになるので，そのサイズは意識しておいたほうがよい。
- ・まる博テーブルのアジャスターは使い勝手が悪くないかしっかり確認したほうがよい。
- ・展示室2への外光の影響についてよく確認しておくこと。
- ・展示造作物に予算が多く割かれると思うが展示ケース分は確保しておいたほうがよい。

(2) 今後の進め方について

- ・展示内容の詳細を部会で詰めていく。
- ・次回委員会 2月26日の予定。

(3) その他

- ・一部の委員より提案のあった，交流館建設に係る職員の異動が無いように要望する件について，委員会全体で反対者がいないため，委員会全体の意見として村長に伝える。